

公立保育園におけるおむつのサブスクリプションサービス導入の検討状況について

＜資料5 別紙1＞
令和8(2026)年3月16日
子ども・子育て会議資料

1 検討の経緯

年月	内容
令和7(2025)年 7月	子ども・子育て会議において、おむつのサブスクリプションサービス導入についての意見あり
“ 8月	サービス提供会社（BABY JOB株式会社）からの説明、打合せ
令和8(2026)年 1月	公立保育園園長会議において、検討投げかけ
“ 1月・2月	公立保育園における園長（8名）を対象にアンケート調査
“ 2月	公立保育園園長会議における検討

2 アンケートの結果（保育園長の意見）概要

- ✓ 導入への反対意見（強く反対2園、反対4園、どちらとも言えない2園）
- ✓ 懸念事項（保育士が行う業務への負担増、おむつ発注・管理システムへの懸念、保護者からの費用負担に関する意見）

※おむつのサブスクサービスを導入しても、保育士の業務負担軽減につながらない（負担が増える）との意見、そもそもおむつの置き場所がないとの意見

3 公立保育園におけるおむつの管理方法

- ✓ 保護者が原則毎日持参するおむつを担当の保育士が預かり、保育室内にある児童のロッカーに補充
※おむつは、児童の通園カバンに入れ持参。おしりふきを持参する日もある。
持参するおむつの枚数は、年（月）齢や排泄頻度により異なる。

4 保育課における検討結果

各園から多くの懸念材料が示されたため、それらの内容を精査の上、引き続き検討課題とする。